

大阪市立美術館

Osaka Municipal Museum of Art





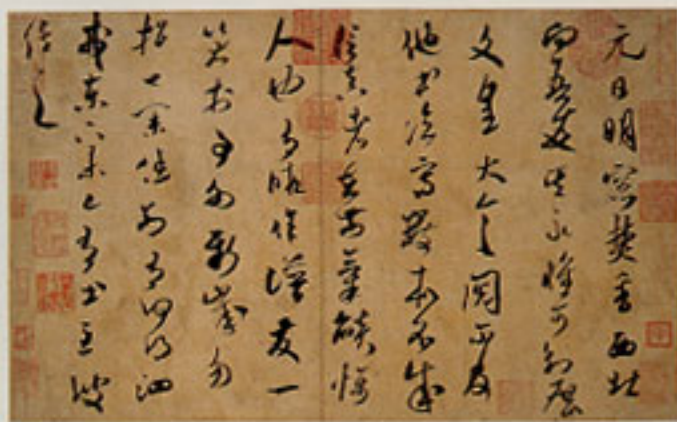
江山樓親図 燕文貴 北宋時代 阿部コレクション



四季花鳥図 狩野宗秀 桃山時代 田万コレクション



夜桜 北野恒富 昭和18年(1943) 住友コレクション



草書帖 米吉 北宋時代 武居巧氏寄贈(重文)

コレクションの概要

■阿部コレクション

もと東洋紡績株式会社の社長、阿部房次郎氏が収集し、子息孝次郎氏より寄贈された中国書画160点からなります。伝王維筆「伏生授経図」はじめ重要文化財4点を数え、燕文貴筆「江山樓親図」など中国書画の歴史を語る上で無くてはならない作品も数多く含まれています。世界的に高名で、本館の代表的なコレクションです。

■山口コレクション

旧関西信託の社長などを務めた関西の実業家、山口謙四郎氏が収集されたもので、中国の石仏125点・金銅仏5点・工芸94点の計224点で構成されています。特に石仏は北魏の天安元年(466)銘仏坐像をはじめ隋唐にいたるまで、基準作ともなる紀年銘を持つ優品が揃い、中国仏教彫刻史を概観することが出来ます。

■田万コレクション

大阪の政治家・弁護士であった田万清臣氏が、夫人の明子氏とともに収集し、寄贈されたもの615件と追加寄贈された48件の計663件を数えます。仏教美術を中心とした東洋美術全般にわたり、その数と重要文化財4件を含む高い水準の質を兼ね備えたコレクションです。

■小西家伝来・尾形光琳関係資料

尾形光琳の子・寿市郎が養家の小西家にもたらしたもので、武蔵金太氏より寄贈された当館収蔵の33件と京都国立博物館収蔵の257件を一括し、重要文化財に指定されています。光琳の生家具服商榷金屋の意匠図案帳や、光琳の下絵・画稿・粉本、諸文書など多岐にわたり、光琳の芸術と生活を如実に伝えます。絵画史のみにとどまらず、染織、蒔絵、陶磁器などの諸工芸、書、芸能、経済史など、元禄時代を中心とした一つの文化の特質をかたる重要な資料です。

■住友コレクション

昭和18年秋に開催された「関西邦画展覧会」のために製作され、昭和19年に住友男爵家から寄贈された20点の日本画からなります。上村松園、山口華楊、北野恒富、梅原紫峰など、当時の関西邦画壇の代表的な作家が含まれています。

■カザールコレクション

スイス人U.A.カザール氏の収集による、江戸から明治にかけての漆工品3,407件からなります。豪華な婚礼調度や、文具、装身具などを含み、特に印籠や根付は日本では収集されることが少なかったものであり、日本に残る数少ないヨーロッパ人の目で見たと見られる収集として、貴重なコレクションです。

■小野順造コレクション

小野薬品工業株の社長・会長であった小野順造氏が収集された南北朝から唐時代にかけての19点の中国石仏。雲岡、龍門、奉先寺洞など名だたる石窟将来の仏頭を中心とし、当時の彫刻技術の最高峰を示すものです。

■その他のコレクション

左記以外にも多数の優品が収蔵されています。武居巧氏寄贈の米落筆「草書帖」(重文)は一部が台北の故宮博物院に所蔵される名品であり、中島小一郎氏の寄贈による葛飾北斎筆「潮干狩図」、「堀川中納言家・一条大納言家歌合」、「天命極楽律寺尾重釜」はすべて、重要文化財に指定されています。広田松繁氏寄贈の「青磁象嵌葡萄唐子文瓢形水注」は数少ない当館の朝鮮美術のなかで、貴重な代表作であり、江口治郎氏寄贈の「龍門寶陽中洞菩薩頭部」は、山口コレクションを補完し当館の石窟将来仏展示の中核となる優品です。師古斎コレクションは岡村師古斎氏より譲渡され、漢から唐時代の墓碑、墓誌、造像銘などの拓本450件で構成されています。すでに原石が消失したり真跡が遺されていない時代の中国の書を研究するうえで優れた資料です。また、古代イタリアのエトルリアの陶器、テラコッタなど165点と、エジプト・コプト期の染織品、石造彫刻124点は、他館では見られないユニークなコレクションであり、当時の文化・生活・風俗を知る上で、得難い資料です。



花卉図のうち 木蓮・木瓜図 惲寿平 清時代 阿部コレクション



仏坐像 北魏・天安元年(466) 山口コレクション



黒 高瓶 鎌倉時代 田万コレクション(重文)



円型図案集のうち 花図 尾形光琳 江戸時代 光琳資料(重文)



九曜紋漆器物語絵手箱 江戸時代 カザールコレクション



仏頭 龍門奉先寺洞窟群 唐時代 小野順造コレクション



潮干狩図 葛飾北斎 江戸時代 中島小一郎氏寄贈(重文)



青磁象嵌 葡萄唐子文瓢形水注 高麗時代 広田松繁氏寄贈

美術館のあゆみ

大阪市立美術館は、天王寺公園内にあり、昭和11年(1936)9月に開館しました。美術館が所在する茶臼山一帯は、もとは住友家本邸があった所で、名庭「慶沢園」とともに大阪市に寄贈され、市が建物を建設しました。昭和54年(1979)秋に全面的な改修を実施し、平成4年(1992)秋には美術館の前庭地下に展示会室を増設しました。

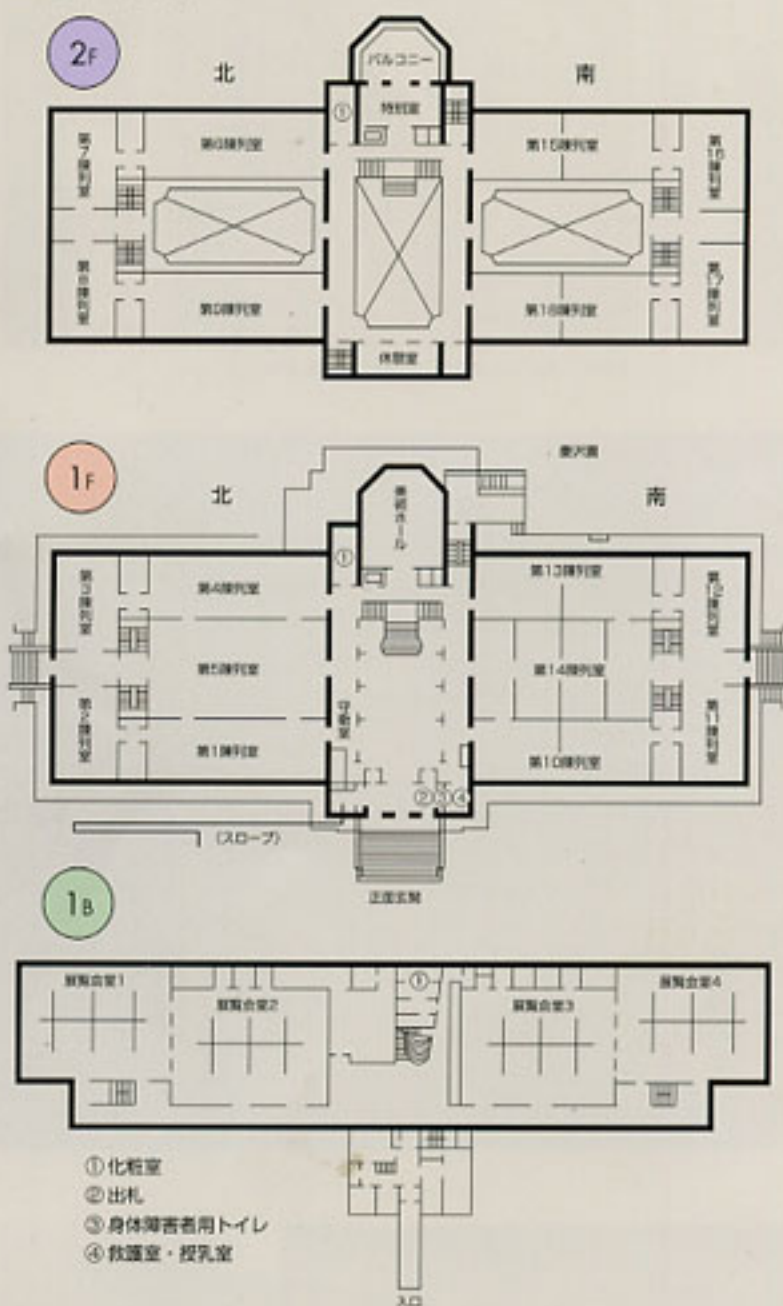
美術館のコレクション

現在、館蔵品は約8,000件に及んでいます。中国と日本の美術品に特色ある美術館として高く評価されており、絵画・彫刻・書跡・金工・陶磁・漆工・染織など多くの分野にわたっています。また、エジプトのコプト美術やイタリアのエトルリア美術などの世界では珍しいコレクションもあります。

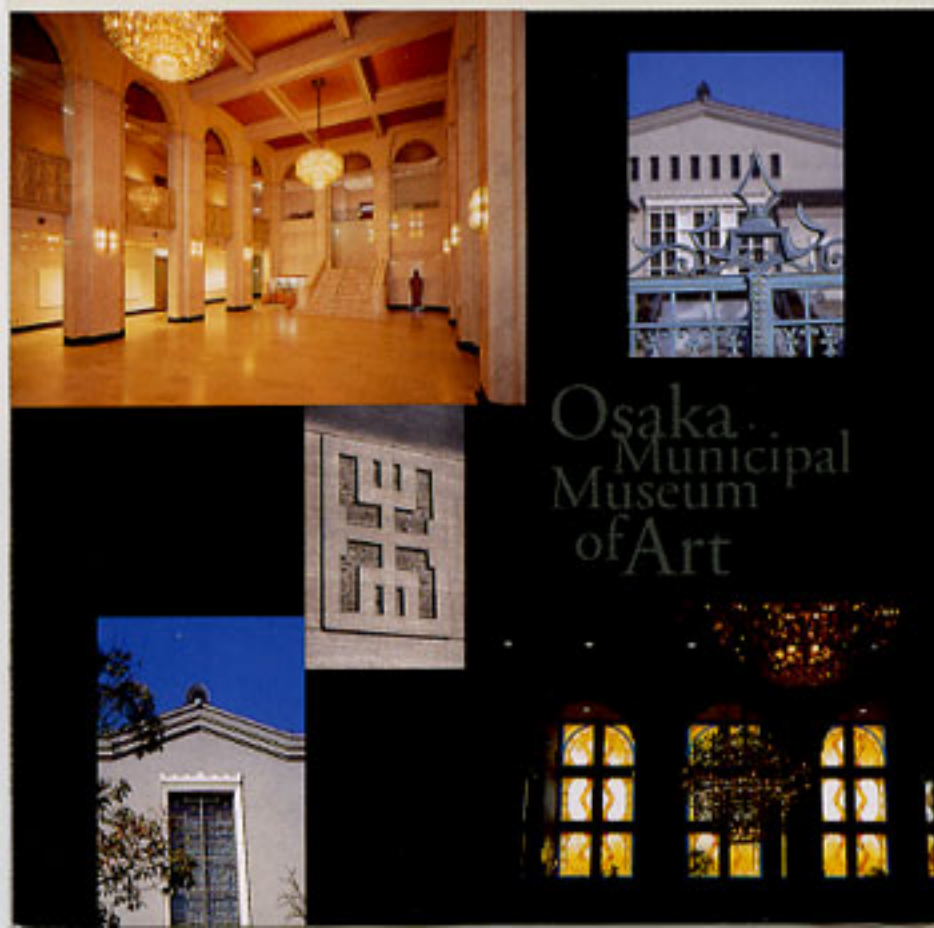
美術館の展覧会

本館部分の陳列室では館主催の特別展覧会、文化庁の勸告承認出品による国宝・重要文化財を含む館蔵品・寄託品を展示する常設展示を開催しています。地下展示会室では、さまざまな美術団体が主催する公募展が開催されています。

施設概要



敷地	260,077㎡ (公園面積)			
建築面積	4,237㎡ (内地下展覽會室203㎡)			
延床面積	17,611㎡ (内地下展覽會室4,885㎡)			
本館1階	4,033㎡	地下展覽會室	1階	298㎡
2階	3,122㎡		2階	3,988㎡
3階	1,088㎡		3階	598㎡
地階	4,391㎡			
塔屋	91㎡			





■利用案内

開館時間=午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日=月曜日(祝日の場合は翌日)・展示替え期間・年末年始

■常設展観覧料

一般 300円 大・高生200円 中学生以下無料

*特別展などの料金は別途定めます

■交通案内

JR天王寺駅中央出口、地下鉄御堂筋線天王寺駅(M23)5号出口、地下鉄谷町線天王寺駅(T27)15号・16号出口、近鉄あべの橋駅西改札、市バスあべの橋、阪堺電軌上町線天王寺駅前駅 北西400m(天王寺公園内)



大阪市立美術館

Osaka Municipal Museum of Art

〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82

TEL.06-6771-4874 FAX.06-6771-4856

<http://www.city.osaka.jp/museum-art/>